

相続税対策チェックリスト



01 非課税財産

- | | | | |
|---|-------------------------------------|--|-------------------------------------|
| 01 生命保険金等の非課税
法定相続人の数×500万円まで
<small>※相続人のみ非課税。
相続人以外の場合課税・生前贈与加算・2割加算の対象</small> | <input checked="" type="checkbox"/> | 06 贈与税の配偶者控除(おしどり贈与)
2,000万円まで
<small>※手続き費用・小規模宅地等の特例・配偶者軽減など要検討</small> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 02 退職手当金等の非課税
法定相続人の数×500万円まで
<small>※生命保険金と同様の注意が必要。
小規模企業共済の場合、受取人順位の確認</small> | <input checked="" type="checkbox"/> | 07 生前に墓地や仏壇等を購入
永代供養料を支払う | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 03 教育資金の一括贈与の非課税
1,500万円まで
<small>※管理残額の課税は契約年による。金融機関に都度手続きが必要。</small> | <input checked="" type="checkbox"/> | 08 家族の生活費や教育費を必要な
都度負担する | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 04 結婚・子育て資金の一括贈与の非課税
1,000万円まで
<small>※管理残額の課税は契約年による。金融機関に都度手続きが必要。</small> | <input checked="" type="checkbox"/> | 09 特定障害者扶養信託契約の非課税
特別障害者 6,000万円まで
一定の障害者 3,000万円まで | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 05 住宅取得等資金の非課税
500万円～1,000万円まで | <input checked="" type="checkbox"/> | 10 家族が欲しいもの、やりたいことを生前に支出。
・自宅や賃貸用物件等のリフォームや修繕
・土地の測量、分筆、境界線の確定等
・家族旅行(思い出作り)
・自宅や車の購入
・寄付 | <input checked="" type="checkbox"/> |

02 生前贈与

- | | | | |
|--|-------------------------------------|--|-------------------------------------|
| 01 財産を相続する人への生前贈与
相続税の限界税率より低い贈与
税の実効税率で贈与する
<small>※7年以内は生前贈与加算の対象になる</small> | <input checked="" type="checkbox"/> | 03 収益性の高い古い賃貸建物や将来株価
が上がる同族会社の株式等は生前に子
や法人に移転 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 02 財産を相続する人以外(子の配偶
者や孫等)への生前贈与
<small>※7年以内の生前贈与加算の対象外にできる
遺贈等がある場合は対象</small> | <input checked="" type="checkbox"/> | 04 相続時精算課税制度
2,500万円まで贈与税がかからない
<small>※1:一度選択すると撤回できない
将来的に財産価値が上がっていくものは有利
※2:子や孫への生前贈与を年110万円以下で、
実行する場合は相続時精算課税が有利</small> | <input checked="" type="checkbox"/> |

03 小規模宅地の特例

- | | | | |
|--|-------------------------------------|---|-------------------------------------|
| 01 被相続人対象者の居住の用に供
されていた宅地等か
<small>※老人ホームの特例有り</small> | <input checked="" type="checkbox"/> | 04 青空駐車場にアスファルト等の駐車場設
備を整備する | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 02 二世帯住宅の場合、区分所有建物
ではないか | <input checked="" type="checkbox"/> | 05 特定の宅地にこの特例を適用すること
に他の宅地取得者が同意でき、未分割
にならないか | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 03 親と同居したり、家なき子の適用
要件に合致するか | <input checked="" type="checkbox"/> | 06 限度面積超の宅地を路線価の高い地域に
組み替えることで特例の適用額が増える | <input checked="" type="checkbox"/> |

相続対策なら！



税理士法人

松岡会計事務所

Matsuoka Accountant's office

▼HPはコチラ



04 税額計算・財産評価

- 01 養子縁組をする
※基礎控除額・非課税枠が増え、相続税の税率構造が緩和される。甥や姪を養子にする場合は相続人の数が減る場合有り。
- 02 障害者控除の適用ができるか
※障害者が財産を相続しないと控除不可
- 03 地籍規模の大きな宅地(規模格差補正)の適用要件・評価単位の確認
- 04 不動産投資の検討
※相続税の計算上の不動産評価額が有利
- 05 路線価の高い地域・容積率が高い地域に組み替えることで圧縮効果大
- 06 同族会社に対する貸付金や未収入金も相続財産
- 07 同族会社が3期連続赤字が続いていないか
※評価額が高くなる可能性大
- 08 同族会社が株式等保有特定会社や、土地保有特定会社ではないか
- 09 孫や、甥姪など、代飛ばしの相続の検討
- 10 配偶者居住権の検討
※1次2次合計の相続税が有利になる場合有り

05 納税資金対策

- 01 納税資金の把握
- 02 生命保険金や退職手当金の受取人の確認(子供世代の納税資金の確保)
- 03 同族会社からの弔慰金の支給(最終月額報酬×6か月)
- 04 農地の納税猶予の適用要件の確認・検討
- 05 非上場株式の納税猶予の適用要件の確認・検討
- 06 物納は延納によっても納税が困難な場合のみ(R4年物納許可:54件)

06 争族対策

- 01 戸籍での相続人の確認
※相続をきっかけに知らない親族がいたケースあり
- 02 生前に親族とどのような遺産分けをするかの話し合いができているか
- 03 遺産が未分割の場合、配偶者であっても法定相続分の相続税の納税が必要
- 04 公正証書遺言の作成
※1次2次の相続税や特例の適用を考慮遺留分に注意
- 05 養子縁組をする(遺留分対策)
- 06 配偶者居住権の設定

07 税務署対策

- 01 本人名義・家族名義の預金の整理、生前の入出金の確認
- 02 名義預金の有無の確認・整理
- 03 本人が契約者でない保険でもその人が負担している保険契約がないか
- 04 贈与を立証する通帳の履歴や書類があるか
- 05 家財道具の価値の確認
- 06 同族会社の財産に簿外の財産がないか(借地権、保険・共済契約、即時償却資産)

相続対策なら！



税理士法人
松岡会計事務所
Matsuoka Accountant's office

▼HPIはコチラ

